

平成29年度 大阪美容専門学校 学校関係者評価結果

1. 学校関係者評価者メンバー

- ・保護者
- ・卒業生
- ・八洲学園高等学校 教頭
- ・(株)カネコ 代表取締役
- ・石川公認会計士事務所 税理士

2. 学校関係者評価結果

	具体的目標	学校自己評価及び改善方策に対する学校関係者評価のまとめ
学校運営	① 退学者の防止 ② 生徒募集活動の推進	① 退学者防止については、極めて難しい問題であり先生方が熱心に取り組んでおられることは理解できるが、保護者との更なる連携を密にし、担任だけでなく関係部署共々全体的な取り組みが必要ではないか。退学者の防止を意識した入学前の取組も一層の強化を図る必要がある。 ② 募集活動では、入学者定員を確保できなかったことは残念である。少子化並びに大学進学率の増加に伴い、今後益々厳しい状況が予測され大変だと思うが、体験入学の参加者の評価は悪くはないので、効率よく入学に結び付ける為の有効な改善策を講じる必要がある。
学習指導	① 専門教育の充実化 ② 学力向上のための指導・支援の強化	① 各学年での各専門教育は、昨年度同様ほぼ計画通りに実施されていることは評価できる。次年度以降についても、知識・技能の習得計画の内容と実施体制の向上に注力のこと。 ② 学力不振生徒に対する補習・補講のバックアップ体制は整備されており、出席率の向上については一定の効果がある。更に保護者との連携強化等で具体的な改善策を検討いただきたい。
生徒指導	① 基本的な生活習慣の指導強化 ② 教育相談の推進	① 今年度も基本的なルール・マナー等の生活指導により、特に大きな問題もなく一定の成果が出ている。ただ、生徒指導は特に保護者との信頼関係がなければ難しいので、この点に一層の注力が必要。 ② 保護者の認識と理解が必要不可欠の問題であるが、今後共重要課題として取り組んでほしい。
進路指導	① 就職活動の指導強化 ② 就職後を見据えた指導の再認識	① 昨年同様、就職指導の早期化により生徒の意識付けに成果があり、就職率が高い水準で推移している点は評価できる。 ② 新卒者の離職は、美容業界に限らず高いと言われているので、大変重要な視点であると言える。入学前からの意識付けにより、退学者防止と併せた効果を期待したい。